

# 県立病院事業経営強化プラン 一部改訂の概要について

計画期間：令和6～9年度  
改訂対象：令和7～9年度  
改訂年度：令和7年度

## 一部改訂の概要

### ■改訂要旨

- 改訂理由**：現在の強化プラン（計画期間：令和6～9年度）における収支計画は、令和4年度までの実績をベースに令和5年度中に策定したものであり、新型コロナウイルス感染症に関する補助金の減や令和6年度診療報酬改定の影響などの経営環境の変化が反映されておらず、目標値が経営実態と乖離してしまっているため。
- 改訂内容**：令和7年度～9年度の収支計画目標及び付随する数値目標を以下のとおり改訂する。
  - ＜収益＞** 令和6年度決算値や令和7年度中の実績をベースに、各病院における収益増加に向けた取組を踏まえ設定した。
  - ＜費用＞** 令和6年度決算値や令和7年度中の実績をベースに、給与改定に伴う人件費の増加や物価高騰による材料費、経費の増加などの影響を踏まえ設定した。
- 改訂目標**：費用増に伴う収支差補填額の増加を、増収を図ることで抑制する。
  - ＜令和6→7年度＞**  
 収益 69百万円増、費用 394百万円増、収支差補填額 325百万円増
  - ＜令和7→8年度＞**  
 収益 135百万円増、費用 249百万円増、収支差補填額 114百万円増
  - ＜令和8→9年度＞**  
 収益 131百万円増、費用 129百万円増、収支差補填額 2百万円減

### ■収支目標額（合計）

（単位：百万円）

項目	R 6 実績	R 6→7の 増減値	R 7	R 7→8の 増減値	R 8	R 8→9の 増減値	R 9
<b>総収益</b>	<b>4,047</b>	<b>+69</b>	<b>4,116</b>	<b>+135</b>	<b>4,251</b>	<b>+131</b>	<b>4,382</b>
(現行プラン)	(4,668)	(+31)	(4,699)	(+19)	(4,718)	(+18)	(4,736)
<b>総費用</b>	<b>7,371</b>	<b>+394</b>	<b>7,765</b>	<b>+249</b>	<b>8,014</b>	<b>+129</b>	<b>8,143</b>
(現行プラン)	(7,652)	(+28)	(7,680)	(+3)	(7,683)	(+11)	(7,694)
<b>収支差補填額</b>	<b>3,324</b>	<b>+325</b>	<b>3,649</b>	<b>+114</b>	<b>3,763</b>	<b>▲ 2</b>	<b>3,761</b>
(現行プラン)	(2,984)	(▲ 3)	(2,981)	(▲ 15)	(2,966)	(▲ 8)	(2,958)

※各項目上段の数値が改訂後の目標値、下段の（数値）が現行プランの目標値。

※本局及び休止中の大野病院除く。

## 各県立病院・診療所における収益増加に向けた取組み

### ○南会津病院

#### <収益・患者数の増加（R7→9年度）>

入院収益+30百万円・患者数+675人  
外来収益+14百万円・患者数+370人

#### <取組>

令和6年4月に運用開始した地域包括ケア病床において、急性期治療後のリハビリ入院など在宅復帰支援に力を入れ、更なる効率的な病床運用により入院患者数増を目指す。

### ○宮下病院

#### <収益・患者数の増加（R7→9年度）>

入院収益+10百万円・患者数+250人  
外来収益+6百万円・患者数+223人

#### <取組>

在宅医療の強化（オンライン診療導入）による外来患者増、在宅患者の適切な入院治療への切り替えによる入院患者増を目指す。

### ○こころの杜

#### <収益・患者数の増加（R7→9年度）>

入院収益+115百万円・患者数+4,548人  
外来収益+32百万円・患者数+3,378人

#### <取組>

特徴的な取組（クロザピン治療、rTMS治療など）の周知や訪問活動の強化により、医療機関・介護機関からの紹介患者増を目指す。

### ○ふたば医療センター附属病院

#### <収益・患者数の増加（R7→9年度）>

入院収益+19百万円・患者数+383人  
外来収益+24百万円・患者数+1,478人

#### <取組>

令和7年度中からの外来診療機能の拡充による外来患者増、高齢患者の増加による入院患者増を目指す。

### ○ふたば復興診療所

#### <収益・患者数の増加（R7→9年度）>

外来収益+2百万円・患者数+242人

#### <取組>

県立医大からの診療応援を受け、内科及び整形外科診療を行うとともに、双葉地域の精神医療の核として、引き続き地域支援活動に力を入れることで、安定的な外来患者数の確保を目指す。